

今でも 部落差別はあるのですか？

マイナスイメージの刷り込み

「今でももう部落差別はなくなったのでしょうか？」という素朴な疑問に答えようと汗を流したことありませんか？差別には見えるもの（実態的差別）と見えないもの（心理的差別）とがあります。同和地区の外で再生産される偏見・差別と忌避する気持ちという今日的な問題について、ドラマで提起し、解決の筋道を考えあうビデオです。



ドラマ部

ストーリー

● 絵本作家の卵・秋江に、子ども用の同和問題絵本制作の依頼が舞い込む。同和問題をよく知らないのになぜか気乗りしないし、避けたいと思ってしまった。前向きに取り組めないのはなぜか？ 何となくのマイナスイメージは、誰から伝えられたものなのか？ 次第に、偏見（差別意識）が知らず知らずに再生産される社会のしくみと自分の課題に気づいていく…。



別に避けているわけじゃ、ないんだけど…。

語りあおう 差別克服の道を！
ドラマ部を視聴した後「かるかもシート」や「乗り越えシート」に記入してグループ討議を行います。学びを行動化するための新しいタイプのビデオ教材です。

- ★「ぶ、部落問題！」
- ★「何引っかかっているの？」
- ★「部落との出会いはいつ頃でした？」



★「家を買うなら同和地区かどうか調べておかないとって友人から言われてまして…」



★「部落の人と結婚すれば、家族はもちろん親戚までも部落だと見なされるからって…」

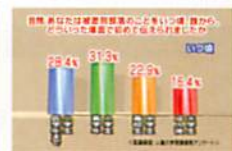
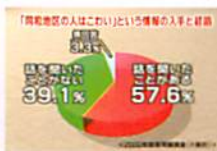


★「別のテーマの仕事はありませんか？」



解説部

マイナスイメージが刷り込まれていく過程をドラマ部の再現と豊富な市民意識調査データから解説。「親しい人からの刷り込み」がおよぼす影響を解説する。キーワードは「触らぬ神に祟りなし」、「間違われたくない」、「差別されたくない」、「監視の目」…。



2005年作品

VHS/カラー/38分(字幕入り)
価格 35,000円+税

企画 ■ 人権啓発ビデオ制作委員会 (社団法人部落解放・人権研究所/大阪府/大阪市/堺市)
制作 ■ 株式会社 元気な事務所

解説書付き
B5判・74ページ(解説・活用法・シナリオ・資料)

2002年3月末で同和対策事業に関する特別法が失効し、一般施策の中で同和問題の解決を図る時代になった。一方、同和地区の環境改善により差別現象が見えにくくなったことと、特別措置法失効のイメージが結びついて「差別がなくなっているのではないか」という誤解を招いているようだ。部落差別は、誰から伝えられ、どういうふうには伝播していくか？ 部落差別を温存してきた社会システムとそれを支えてきたサイクルを考えあう問題提起ビデオ作品。

また「解説書」では、記入シートを活用しながら、自分自身の人権課題と結びつけて差別・偏見に気づくように工夫している。

■出演

三谷恭子
山本禎顕
宮田圭子
旭屋光太郎
一木美貴子
大田黒康真
柏本直子
菊池聡
藤田幸恵
赤木隼人
荒井ひとみ
浅越万里奈

■制作スタッフ

ナレーション●中川京子
演出●松下裕治
撮影●牧 逸郎
撮影助手●池田良子
ビデオエンジニア●山川 浩
照明●茂永雄介
照明助手●堀亀誠、河田雅樹、清水太郎
音声●平山武史、桜野耕平
メイク・スタイリスト●木村純子、佐原未青
美術●竹内美智子
イラスト●藤本聡子
編集●徳田裕恒
選曲・効果●増南 正
CG・スーパー●青木義貴、松浦勇二
キャスト●竹内和子
演出助手●上田雅史
製作進行●大塚康高、小島佳苗
プロデューサー●青木雅浩

■脚本

■ドラマ構成による問題提起

絵本作家の卵・秋江は、同和問題をテーマにした子ども用の絵本づくりを依頼された。なぜか気乗りしなくて憂鬱な気分なか、プロだからとシブシブ勉強することとなった。多くの人と出会い、話を聞くうちに「アッ、あれが差別だったとは！」。一旦、差別に気づくと驚くほどたくさんの差別があることに気づく。描こうとした「かかると親の姿は私自身だった」と秋江は痛感しながら、部落差別は社会問題であると同時に私（個人）の課題であることに次第に目覚めていく…。

所要時間●ドラマ部/約25分



大阪府青少年会館等教育連絡協議会
部落解放同盟大阪府連合会
部落解放同盟大阪府連合会浅香支部
部落解放同盟大阪府連合会向野支部

■資料提供

朝日新聞社
高知新聞社
神戸新聞社
毎日新聞社
読売新聞社
(50音順)
羽曳野市
解放新聞社
解放出版社

■解説部

■ドラマ再現と市民意識調査データから解説

「今でも部落差別はあるのですか？」と問いかげられたら、同和地区の生活のさまざまな面で改善が必要な課題は残されているし、日本社会に根強く残っていると答えるだろう。しかし、同和地区への偏見から生み出されるものだけが差別ではなく、現代の部落差別は「触らぬ神に祟りなし」というような「避けるという忌避意識」のなかにあるのではないだろうか？ 市民意識調査や多くの報道記事などを参照しながら、今、もっとも緊急の課題は何であるのかについて問題提起し、解説する。

所要時間●解説部/約13分



■撮影協力

(財)アジア・太平洋人権情報センター
京都府立植物園

■制作協力

奥田 均 (近畿大学教授)
尾場 太 (字幕監修)

お問い合わせ・お申し込み先

(株)解放出版社

〒556-0028 大阪市浪速区久保吉1-6-12 TEL06-6561-5273 FAX06-6568-7166 <http://www.kaihou-s.com>

<キリトリ線>

ビデオ「今でも部落差別はあるのですか？ マイナスイメージの刷り込み」●注文書

取り扱い	お名前(ふりがな)
	ご住所 〒
	TEL () -